

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:基礎工学研究科・基礎工学部

| 項目 | | コメント |
|-------------------------------|---------------------------|--|
| 1. 教育 (大学の年度計画: 1~7) | 教育に関する年度計画の達成状況 | <p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、部局経費、JASSOの留学生交流支援制度、国立大学改革強化推進補助金等の各種制度を利用して、海外機関との学生の受入、派遣を実施するほか、留学生相談室において、教員2名、職員1名、チューター延べ61名の体制で留学生の学習、生活の支援を実施するとともに、新たに留学生支援TAを雇用し、学習支援を強化する、また、文科省理数学生育成支援事業によりオナープログラムを展開するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |
| 2. 研究 (大学の年度計画: 8~10) | 研究に関する年度計画の達成状況 | <p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、未来研究ラボシステムにおいて、新たに3件の基盤拠点研究、1件の展開研究、4件の若手研究の課題を採択し、継続課題を含めて、17件の研究課題に間接経費(総額1,400万円)を配分し、学際融合研究を推進するほか、「量子機能融合による未来型材料創出事業」において、10件の国際共同研究を実施するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |
| 3. その他 (大学の年度計画: 11~17) | (1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流 | <p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、カリフォルニア大学バークレー校、トロント大学、スウェーデン王立工科大学、シンガポール国立大学、および基礎工学部の学部長等による「1st International Engineering Science Consortium Meeting」を2013年12月6日に開催し、5大学間の教育・研究交流について検討を行うとともに、当該基礎工学国際コンソーシアムのホームページを開設し、コンソーシアムの活動を広く公開するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |
| 4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30) | 業務運営全体に関する年度計画の達成状況 | <p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、間接経費等を、研究科長のリーダーシップの下で、研究科独自の複合学際研究領域支援(未来研究ラボシステム)やプロジェクト研究の基盤整備、競争的資金獲得推進経費に充当するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、研究科全体および全専攻領域の各単位における、20名の外部委員による外部評価の実施、初任者FDやハラスメント防止研修会等の各種FDの実施、学生版「地震発生時の初動マニュアル」の作成と配布など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |
| 5. 全体の項目に関する達成状況 | | <p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、研究科独自の複合学際研究領域支援(未来研究ラボシステム)への間接経費等の充当による学際融合研究を推進や、基礎工学国際コンソーシアムによる国際交流の実施など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |